

安全にご利用いただくための
私たちの取り組み



SIVA Inc.

AGENDA

1. はじめに
2. Squad beyondを安心してご利用いただくために
—お伝えしたいこと
3. サーバー
—確認すべき項目
4. ドメイン
—本ドメイン・サブドメインとは／サブドメインのメリット・デメリット
5. データの正確性
—昨今のWeb広告業界を取り巻く環境／各種数値、指標について/Squad beyondの取り組み
6. 導入後のサポート
—カスタマーサポートチームによる手厚いサポート
7. 終わりに

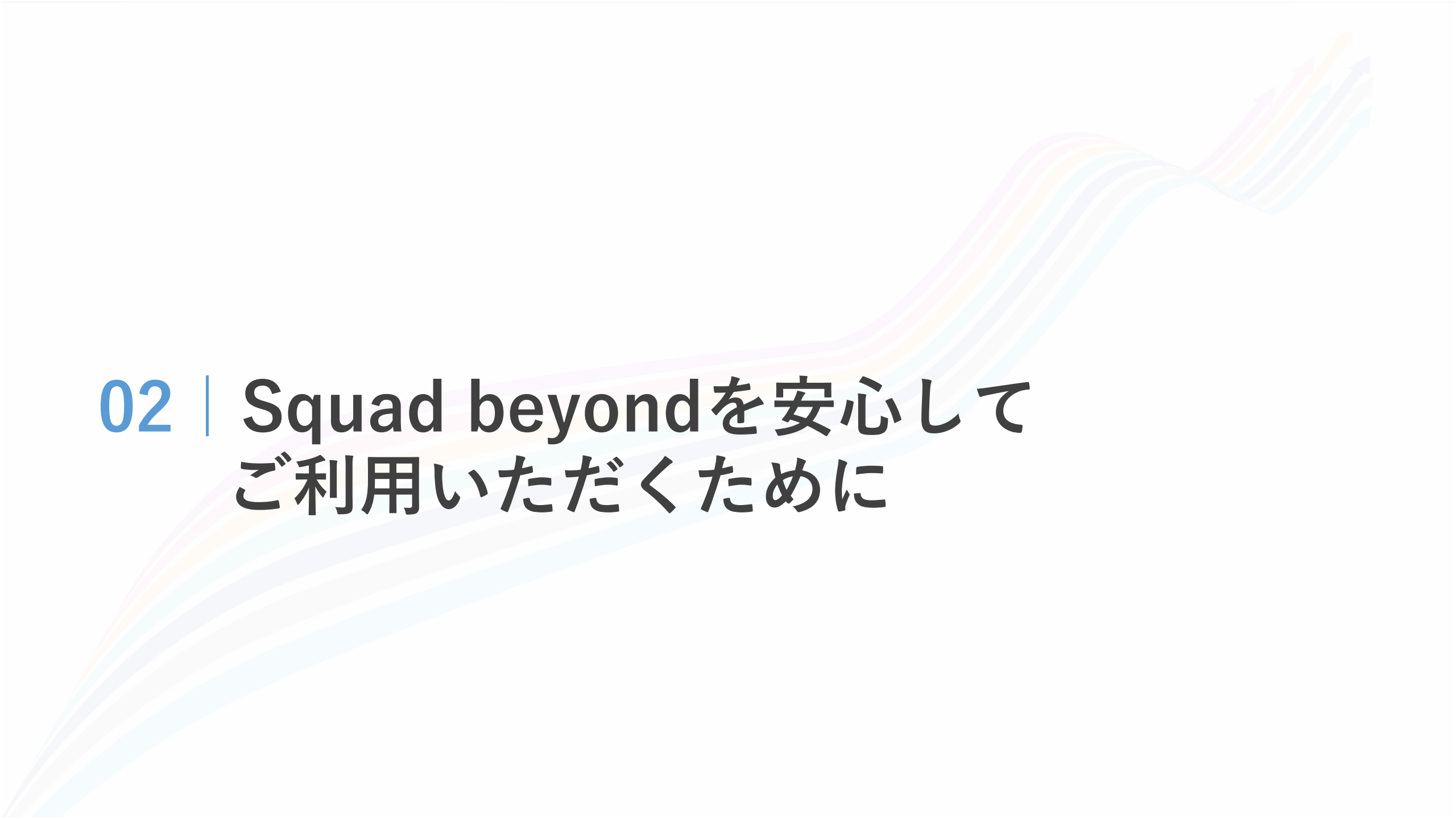
01 | はじめに

まずは本資料をダウンロードいただき、ありがとうございます。
企業や個人が新しいコンテンツやサービスを導入する際には、

- ・ 導入に際してのリスク
- ・ 既存の事業形態や業務からの変更点

など様々な懸念点が生じます。

今回はSquad beyondの導入を実際に検討されているお客様から
数多く寄せられる声を元に、
様々なリスクをSquad beyondがどのように防げるかを解説していきます。



02 | Squad beyondを安心して ご利用いただくために

02 | Squad beyondを安心してご利用いただくために

お伝えしたいこと

Squad beyondでは2020年7月の正式リリースから1年以上経過した現在も、AWSのサーバーダウンを除いて、お客様の広告運用に大きな影響を及ぼすようなトラブルは生じていません。

弊社では今後もお客様が実際にSquad beyondを導入した際に生じるリスクを未然に防ぐための仕組み作り、有事の際には迅速に対応できるようなシステム作りを続けて参ります。

- AWS

Amazon Web Service

Amazon.comにより提供されているクラウドコンピューティングサービス
世界規模で数百万、日本国内だけでも数十万以上の利用者数を誇ります。

02 | Squad beyondを安心してご利用いただくために

具体的な内容

本資料ではユーザーの皆様がSquad beyondを快適にご利用いただくための仕組みを

具体的に

- ・ サーバー
- ・ ドメイン
- ・ データの正確性

に分けてお伝えしていきます。

それぞれ詳しく見ていきましょう。

サーバー

ドメイン

データの正確性

03 | サーバー

サーバー

ドメイン

データの正確性

03 | サーバー

確認すべき項目

インフラ

Squad beyondはAmazon Web Services、AWSを採用しています。99.999999999% (9 x 11)の耐久性を実現するように設計されているS3をはじめ、AWSのマネージドサービスを活用してきました。AWSでは必要なときに必要な量のリソースへ簡単にアクセスすることができ、メンテナンスが容易になっています。

サーバー冗長化、ロードバランサの導入

アプリケーションへのトラフィックを複数のサーバーへ自動的に分散させるために、ロードバランサーを導入しています。アプリケーションの耐障害性を高めるのに必要な高い可用性、自動スケーリング、堅牢なセキュリティを特徴としています。ネットワークトラフィックを分散して、アプリケーションのスケーラビリティを向上させています

03 | サーバー

パフォーマンス監視

New RelicやDatadogなどのApplication Performance Management、APMを採用しています。アプリケーションに関するあらゆるデータを一箇所に統合し、ソフトウェアを分析、トラブルシューティング、最適化することができます。フロントエンドからバックエンドまでソフトウェア全体の可視化、インシデントの自動検出を実現し、パフォーマンスを向上させます。

常に暗号化された通信

Squad beyondとの通信は常にSSL/TLSによる暗号化を行うことで、外部からの不正なデータへのアクセスに対し情報漏洩を未然に防止することができます。

連携データを暗号化して保管

媒体連携の際に必要なパスワードやトークンなどの機密性の高い情報は暗号化して保管。万が一、悪意のある第三者が盗み見ようとしても、解読できないようになっています。

04 | ドメイン

サーバー

ドメイン

データの正確性

04 | ドメイン

独自ドメイン・サブドメインとは

本体サイトのドメインを独自ドメイン、独自ドメインの前に特定の文字列を追加したドメインをサブドメインと呼びます。サブドメインを発行することで、新しいドメインを発行するコストや手間を抑えながら既存ドメインに影響を与えることなくサイト構築が可能になります。

URL

<https://〇〇〇.com>
独自ドメイン

本体サイト



<https://ABC.com>

Webサイト

<https://△△△.〇〇〇.com>
サブドメイン

旅行



travel.ABC.com

EC



shop.ABC.com

ペット



pet.ABC.com

04 | ドメイン

サブドメインのメリット・デメリット

Squad beyondをご利用の際にはサブドメインを発行していただく必要があります。
サブドメインを発行することによるメリット、デメリットをそれぞれ見ていきましょう。

- **メリット**

複数のドメインを取得し管理する手間やコストを削減することができる。
サブドメインのサイトが広告審査を受ける際に、配信する媒体によっては本体サイトの評価によって審査が通りやすくなる場合がある。

- **デメリット**

広告配信において特にデメリットはない。
ただし設定を間違えると本体サイトやサブドメインのサイトがダウンするなどの影響があるため、注意が必要。

Squad beyondでの広告配信が、導入企業様のホームページなど、本体サイトに悪影響を及ぼすことはないので、安心してご利用いただけます。

05 | データの正確性

サーバー

ドメイン

データの正確性

05 | データの正確性

各項目

データの正確性を確認する上で、なぜ今データの正確性が重要視されるようになっているのか、実際の運用でどのような問題が生じているか、そしてSquad beyondがどのように正確な数値を導き出すのかをご紹介します。

昨今のWeb広告業界
を取り巻く環境

各種数値、
指標について

Squad beyondの
取り組み

05 | データの正確性

昨今のWeb広告業界を取り巻く環境

ここ数年ユーザーのプライバシー保護への関心の高まりに応じて、iOS14やGoogleでCookieに対する取り締まりが強化されています。Facebookなどの広告媒体もこの影響を受け、正確なデータの取得が難しくなっているのが現状です。

そこで広告業界では、

- Cookieに代わる、新たな数値計測方法の確立
- 数値の計測結果をいかに正確なものにするか

に大きな注目が集まっています。

Cookieとは

サイトを訪れた日時や、訪問回数など、さまざまな内容が記録されている情報。FacebookやGoogleなどの広告媒体では、このCookieを用いて適切なユーザーへの広告配信を行ってきた。



05 | データの正確性

各種数値、指標について

実際に広告運用を行う中で、各種数値や指標に関して実際の運用現場で数値を計測する際に生じてしまう2つの問題点について見ていきましょう。

1. 数値を計測する際の漏れ

広告媒体は、Cookieを利用してユーザーがWeb上でどのような動きをしたのかを追跡することで情報を取得しています。しかしこの追跡の際に、別々のツールを連携させて情報を行き来させることで、数値の漏れが生じてしまいます。

また先述した通り、昨今AppleのSafariやGoogleでのChromeのようなブラウザがCookieの利用を続々と規制する動きが広まっており、その影響で媒体から「正確な」データの取得がますます難しくなっています。

2. 意思決定に影響しない（媒体の自動審査のPV数など）数値が計測される

数値の正確性を考えるときに、必要な数値が抜け落ちてしまうことも問題ですが、逆に必要でない数値が計測されてしまうことも問題となります。具体的に見ていくと、媒体側でLPの審査が行われたり、運用担当者がLPのプレビューを閲覧することは頻繁に行われますが、広告媒体によっては、これらのユーザー以外の閲覧も広告のPVとしてカウントされてしまうという事象が起こり得ます。

これらの数値を除外することは、ユーザーのより正確な反応を見る上で重要な要素になります。

05 | データの正確性

Squad beyondの取り組み

ここまで現在Web広告業界の現状、正確な計測ができなくなってしまう要因について見てきました。最後にSquad beyondがどのように正確な数値を得ているのか、その仕組みを指標別に解説していきます。

- PV（ページビュー）

Squad beyondではPV数として媒体から遷移してきた回数を計測します。プレビューや実機プレビューでの遷移はPV数としてカウントされないため、ユーザーの動きに対応した正確なPV数の計測が可能です。

- CLICK（クリック）

Squad beyondでは、あるページから別のページに遷移するときに計測機能がついたリンクを発行可能です。この計測機能付きのリンクがクリックされた回数を「クリック」として計測することが可能です。PV数が正確になることで、PVに対するCLICKの割合なども正確に算出することが可能です。

05 | データの正確性

Squad beyondの取り組み

ここまで現在Web広告業界の現状、正確な計測ができなくなってしまう要因について見てきました。最後にSquad beyondがどのように正確な数値を得ているのか、その仕組みを指標別に解説していきます。

- **CV（コンバージョン）**

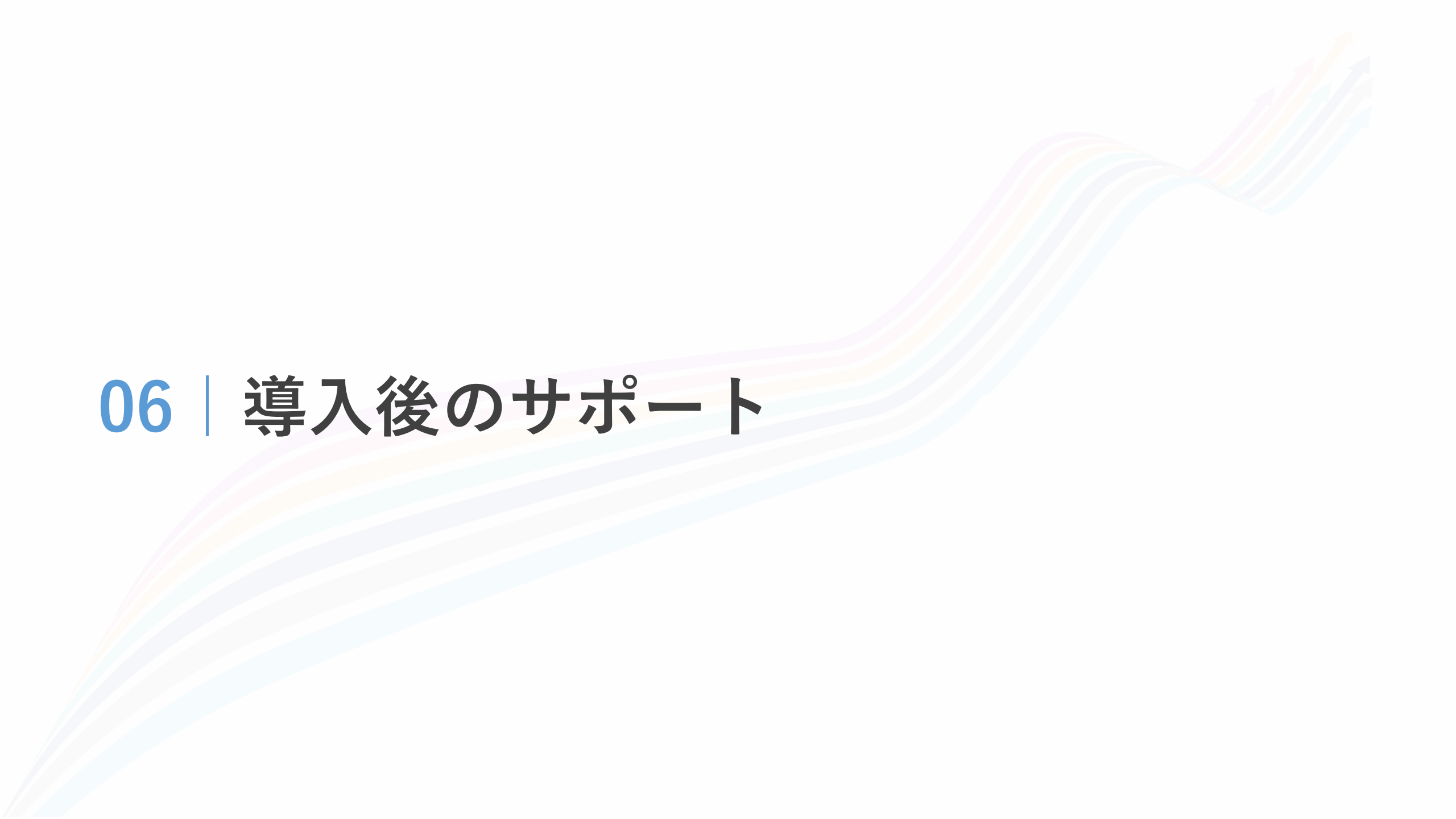
Squad beyond上で計測したCVデータはもちろん、連携することで外部の計測ツールなどの数値をSquad beyondに反映させることができるため、正確なCVデータを取得することができます。この数値は広告媒体側にも連携させることで、広告媒体の最適化にも役立ちます。

- **レポート・ヒートマップツール**

今までレポートやヒートマップツールを利用するためには、LPとツールを連携させることで計測を行なっていたため、「サイトを訪問したユーザーが数秒間滞在しなければ計測できない」等の乖離が生じていました。

しかしSquad beyondはツールの連携などがなく、Cookieを利用せずともPV数をそのまま訪問したユーザーとしてカウントできるので、正確な数値を得ることができます。

06 | 導入後のサポート



06 | 導入後のサポート

カスタマーサポートチームによる手厚いサポート

お客様からのお問い合わせの「95%以上」が「1時間以内」に対応

弊社カスタマーサポートチーム一番の強みは、対応スピードの速さです。

現在Squad beyondでは、サポートチーム1名あたり1日平均30件ほどのお問い合わせをいただいております。チャット機能で気軽に相談できるので、導入直後でも安心してご利用いただくことが可能です。

チュートリアルや既存ユーザー向けのセミナーで、導入したばかりの運用担当者も安心

運用担当者が初めてツールを利用する際にも、実際の操作画面を共有しながらのチュートリアルや定期的なセミナーによって運用体制をサポートし、他ツールからのスムーズな以降を可能にします。

その他有料サービス

HTML移管サービス

07 | 終わりに

いかがでしたでしょうか。

Squad beyond導入によるリスクを事前に防ぐための仕組みから、導入後のサポートまでお伝えさせていただきました。

「もっとこんな情報が知りたい」と言う方は弊社サービスサイトからお問い合わせください。

Squad beyondでは、皆様が安心してご利用いただくために今後も様々な取り組みを続けていきます。